授業デザイン

教科・科目：芸術・音楽Ⅰ　　令和２年１０月２７日（火）

実施学級：１年７組
実施場所：音楽室
単元名　：創作　　1／10時

1　本時の指導目標	調性音楽における旋律の特徴を理解する。
2　本時の手立て	和音の構成音と非構成音が持っている響きや特徴を感じ取らせる。
3「深い学び」に導くための問い	問い 同一和音の中で構成音と非構成音とのバランスはどの様になっているか？ 個性的な旋律を創るための非構成音の使い方は？
	問いのレベル　いずれかにチェックを入れる。 ☑**Ⅰレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） ☐**Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） ☑**Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）

４　学習の展開			
学習活動		指導上の留意点	評価方法
導入	●本時の目標を提示する。 ●教師の作品を聞く。	実際の楽譜を見せながら鑑賞させる	観察 レポート
展開	●カノンコードを用いた作品に触れる。 ●旋律の作り方を学ぶ。 ●構成音から2つの音を選び、キーボードを弾きながら他の音を補って旋律を創る。	「つどい」の中からカノンコードを用いた作品を数曲選びその部分を歌わせる。 （プロジェクタを使用し解説する） 構成音を示し、基本的な旋律の作り方を言葉で説明する。 スクリーン上で生徒に選ばせた音を発展させ旋律にしていく。同じ方法で幾つかの和音で示していく。 旋律が単調にならないための技法を示す。 過去の生徒の作品で個性的な旋律の一部を紹介する。 構成音から２つの音を選ぶことから取り組ませる。 順次進行させる部分と跳躍進行させる部分とのバランスを考えさせる。	観察 シート提出 個別添削
まとめ	●学習のまとめと振り返りをする。	本時は解説中心であったので次週は実際に創作活動に入ることを伝える。	観察